

まんが王国・土佐推進協議会 令和2年度第2回総会（概要）

決議日：令和3年3月5日（金）

開催方法：書面

決議者：まんが王国・土佐推進協議会委員15名（5名未提出）

説明のみ：オブザーバー1名、監事2名

（1）議決事項

次の報告事項について、書面により承認された。（委員20名中15名承認）

第1号議案

令和3年度まんが関連事業計画（案）及びまんが王国・土佐推進協議会収支予算（案）

（2）ご意見等

【青木副会長】

- ・「世界まんがセンバツ」は「漫画家大会議」とは別に柱立てした方が、今後、発信、拡大していくうえでわかりやすくなると思う。
- ・世界に向けた発信は、関連のある各拠点にキーパーソンを見つけて、連携をしている方が効率が良い。例えば、大学の留学生やJICA、JETRO等。
- ・よさこいのアンバサダーのように、色々な組織を横につないで発信できる人が各地にいると良い。

【A委員】

- ・2年前の海づくりの日の祭典に、前日から11か国の在日大使（パナマ、リニア等）が高知県に集っていた。まんが甲子園、世界まんがセンバツ等の発信において、そういった大使に声をかけてみてはどうか。
- ・近年、特に海外はメールでの営業活動も多く、受け手側も慣れているため、訪問でなくてもメールから売り込みを始めるのも良いと思う。
- ・様々な発信・開拓の仕方がある。
- ・（「まんが甲子園」も「漫画家大会議」今年度は）現地開催でないということは残念ではあるが、オンライン開催ということは現地開催に比べて準備期間が長くとれるということでもあるので、今後に向けた取組（複数年）の準備（海外からの受入れ等）ができる機会である。
- ・協賛や協力の依頼については、大きい会社程決裁に時間がかかるので、早目に依頼する方が良い。本来であれば、主役の高校生が回って集められれば、地域の協力や、お金の大事さを実感できる機会となる。企業側からしても、その方が好意的に捉えることができる。

- ・高校生にもっと主体的に関わってもらうことも教育の一環であり、高校生からの情報発信だと情報を受け取る側の層も変わってくる。
- ・まんがBASEのネックは、駐車場等を含む動線にあると思う。一度訪れればそのハードルは下がるので、例えば追手門から入ってすぐの広場でコスプレイベントを行い誘導する等、まずは施設を訪れてもらうきっかけを作ると良いと思う。
- ・継続的に収入のある仕組みができるとよい。例えば市内の本屋は、正しい鉛筆の持ち方習得を目的として、全国の新小学1年生に鉛筆をプレゼントすることとし、その鉛筆を企業が購入するという形をとっている。「なぜ高知にまんが文化が必要か」ということを企業に納得してもらい、継続的に協力してもらえる方法が必要。

【B委員】

- ・まんがを通じた海外発信は、高知県の観光振興にもつながる。

【C委員】

- ・漫画家大会議、まんが甲子園の大成功をお祈りします！

【D委員】

- ・まんが王国・土佐推進協議会とまんが甲子園に代表されるまんが文化イベントは、日本だけではなく、世界のまんが文化支援の筋金となった。
- ・コロナ禍後の復活を見据え、エールを送り続けたいと願う。

【E委員】

- ・ポータルサイトの令和3年度の運営においては、甲子園、大会議以外のオンライン企画として、「高知県No.1を決めよう」といった閲覧者参加型の企画が良い。引き続き、相談に乗る。
- ・ポータルサイトの運営業者には、年間のイベントスケジュールを立ててもらうべき。(甲子園、大会議、その他)
- ・情報の発表は、発表の前に発表予告を入れる順が良い。
- ・海外での情報発信において、各国で開催されている日本のまんが・アニメフェスティバルに出展することから始めると良い。継続して出展していくことが重要(例：知多娘)。
- ・現在は「聖地巡礼」から「街歩き」へと移行しており、現在ソニーでは「ロケトン」というアニメの音楽と場所を連動させ、街歩きを楽しめるサービスを行っている。

【F委員】

- ・①「ブランド力」が強くなった状態とは具体的にどのような状態になることか。
- ・②まんが文化を担う人材とは具体手金井戸のような人材のことで、何人程必要なのか。
- ・①及び②の答えとなることが「まんが甲子園」や「全国まんが化大会議」の実施により実現できる理由は何か。またそのための規模や成果はどのくらいのボリュームになるのか。
- ・全体として、オーソライズされたゴールがどこで、そのゴールに向けて有効な施策が計画的に実施されているかという視点から考えていく必要がある。

【G委員】

- ・高知国際中・高等学校では、「サービスアダプション」という取組に全員が取り組み事となっている。その取組内容の1つとして、まんが甲子園運営への参加が考えられるとともに、生徒達にとって良い取組になり得ると感じる。今後、協力できる内容について相談していきたい。
- ・コロナ禍の学校現場は、様々なことが制限されており、まんが甲子園に係る高知県高等学校文化連盟漫画専門部及びその生徒達の体制や役割にも配慮していかなければならない。

【H委員】

- ・万が一、東京オリンピックが中止という状況になった場合、まんが甲子園にも影響が出てくるのではないか。
- ・記念大会の取組の1つ「大交流会」は、マスクをはずさず、密にならない状態で楽しめる工夫が必要だと思う。

【I監事】

- ・令和3年度については、高知縣市町村振興協会としてまんが甲子園への補助金として、500万円の予算を考えている。令和4年度以降はシーリングの可能性はある。
- ・コロナ収束後は、まんが文化の発信において海外でもイベントができると良い。
- ・今夏公開予定の「竜とそばかすの姫」（細田監督）は、舞台が仁淀川であるが、何かコラボレーションできることがあるのではないか。
- ・市町村からの協力が必要な際は声をかける等、協力できる。